

令和元年度（平成31年度）品川区シルバー人材センター 事業報告

公益社団法人
品川区シルバー人材センター
会長 岩澤政善

1. 事業実施状況

概 況

品川区シルバー人材センターは、昭和 52 年 4 月に高齢者事業団として設立され、さらに平成 23 年度には公益社団法人として新たにスタートを切り、今日まで 40 年以上の長きにわたり、高齢者の多様なニーズに応える組織のひとつとして、就業の機会を提供することを通じて、その活動を援助し高齢者の社会参加と福祉の増進を図ってきた。

さて、センターの事業運営に影響を与える我が国の経済状況を見ると、第 3 四半期までは、オリンピック・パラリンピックの開催を控えた各方面のインフラ整備等もあり、雇用・所得環境の改善が図られ、景気は緩やかな回復基調となっていたが、年明けから中国に端を発した新型コロナウイルスの感染拡大が我が国のみならず世界中に大きな影響をもたらし、景気後退の様相を呈してきている。

このような状況のなか、令和元年度は、第 4 次中期計画の 4 力年目として「シルバー世代の活躍と地域貢献を目指して」の理念の下に重点事業として定めた各事業の推進に着実に取り組んだ。

その成果としては、残念ながら会員数では令和元年度末現在で前年度より 10 名、0.4%減の 2,404 名となった。これは、入会の面では会員のご協力による入会強化事業の伸びや新聞折込ちらし、駅頭ポスターを活用するなど多様な広報宣伝活動が一定の効果を発揮したものの、高齢化の進展による退会者増が止まらず、結果として会員数の増加に至らなかったというのが現状である。したがって、引き続き様々な入会強化の取組みを継続するとともに退会を防ぐため、高齢者にも取り組める、新たな就業先の確保を図っていくなどの施策が必要である。

事業実績については、シルバー派遣も含めた受託件数は 15,652 件と昨年度から 372 件の減となったものの、契約金額は、12 億 5 千 3 百万円と昨年度より約 4 千 4 百万円の増となった。これは、公共部門についての配布物関係の新規契約増や保育補助等シルバー派遣の実績増もあり、民間部分での会員高齢化による請負・委任契約の件数減での落込みを補う形となったものと思われる。

最後に、センターの大きな課題として挙げられた事故防止については、昨年度並みに発生件数を抑えることができた。これは安全管理委員会の活動強化、地区委員会の声掛けや会員の皆様のご協力の賜物と考えている。しかしながら、安全就業については、会員の安心安全を図る観点から事故ゼロを目指し、これからも取組みを継続していくことが重要である。

以下、事業計画に沿った事業結果について報告する。

I. 事業目標・事業実績について

区分	当初事業目標	事業実績			
		実数	目標との比較	前年度比較	
会員数	2,600名	2,404名 (男性1,316名、女性1,088名)	△196名 (7.5%減)	△10名 (0.4%減)	
就業実人員 (請負)	年間 2,100名	年間 1,977名	△123名 (5.9%減)	△18名 (0.9%減)	
就業実人員 (派遣)		40名		29名 (263.6%増)	
就業延日人員 (請負)	年間 295千日人	290,727日人	△4,273日人 (1.4%減)	△4,135日人 (1.4%減)	
就業延日人員 (派遣)		2,453日人		2,232日人 (1010.0%増)	
契約金額 (請負)	年間 124,500万円	1,239,643,850円		△5,356,150円 (0.4%減)	
		内	公共 482,763,036円		39,112,705円 (8.8%増)
		訳	民間 756,880,814円		△6,952,138円 (0.9%減)
契約金額 (派遣)		13,111,195円		11,972,290円 (1051.2%増)	
受託件数 (請負)	年間 17,000件	15,511件	△1,489件 (8.8%減)	△505件 (3.2%減)	
受託件数 (派遣)		141件		133件 (1662.5%増)	

II. 公益目的事業について

事業1 就業機会の確保・拡大

(1) 区の施策との連携・協力

公共の仕事として区内小中学校の施設開放管理、シルバーセンターの受付管理、選挙公報や区議会だより等の配布などを実施した。さらに、今年度は、区民向けに数年に一度発行される『防災ハンドブック』や『品川区資源・ごみの分け方・出し方』の全戸配布を行った。他にも品川区議会議員選挙公報配布業務や参議院議員選挙公報配布業務など大口の配布業務があり、公共の実績拡大に貢献している。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、年度末頃より学校の休校や施設の休館など事業に影響が出始めており、今後とも事業運営に悪影響が懸念されるところである。

(2) 就業機会の確保・拡大事業

民間の仕事としての請負・委託事業については、毎年継続中の事業が減少はするものの、年間を通じて実施した総数は 14,923 件の受託件数であった。そのうち新規の契約は 671 件で、多くは清掃・植木だが、他に近隣私立中学・高校より登校時の挨拶運動業務、Wi-Fi ルーター点検梱包業務などもあった。

① 技能系就業の技術の向上・リーダー育成

技能系就業においては、継続して事業を行うために数名新規就業者を得た。外部講師を招いての研修や OJT を通じて技術の向上を目指している。しかし一部定着するまでには至らなかった職種もあるため、引き続き女性会員の活躍の場の確保も含め取組みを強化していく。

② ポスティングの配布体制

ポスティングについては、配布期間の短縮及び就業会員の負担軽減のため、部数の多かった 9 地域を 18 地域へ再分割し、近年増加しているタワーマンションに対応した配布体制の実現に努めた。今後も品川区の人口増加に伴い、さらにきめ細やかな配布体制を実現することで区民サービスの向上を目指す。

③ 就業確保・拡大

就業確保・拡大のため就業開拓専門員による、区内の中小企業事業者・共働き世帯・高齢者の一人暮らし世帯等を対象とする就業開拓を行った。また、区内全域での仕事募集ちらしのポスティングを行い、問い合わせや下打合せにはすぐに伺うなど新規の案件を中心に清掃や技能系分野の受注拡大に努めた。

(3) 地域・家庭からのニーズの充実

① 地域コンビニサービス事業

近年、高齢者世帯や単身世帯が多くなっている状況を反映して、病院の付添や買い物などの依頼が多くなっている。それらのニーズに応えるため受注体制の強化を図ってきた。ダブル就業の推進で徐々にではあるが従事会員も増えてきている。引き続き、さらなるダブル就業の推進により人員確保に努めていく。

地域コンビニサービス事業

事業項目	実績	事業項目	実績
包丁研ぎ・まな板削り	354 件	室内外の片付け・整理・清掃	99 件
粗大ごみの搬出・解体	54 件	病院・買物の付添代行	103 件
家具移動・その他	172 件		

地域コンビニサービス計 782 件

家事援助

事業項目	実績	事業項目	実績
家庭内の掃除	57 件	洗濯・掃除	40 件
食事作り	8 件		

家事援助計 105 件

育児支援

事業項目	実績	事業項目	実績
送迎	27 件	見守り	8 件

育児支援計 35 件

② 学習教室事業

区の補助を受けて、低廉な授業料で子ども向けの学習教室事業「おさらい塾」を実施した。令和元年度は小学3～6年生を対象とし各学年週1回の授業を行い、子どもの基礎学力の向上に努めた。

○小学3・5年複式1クラス 小学6年1クラス 生徒総数 10名

③ いきいきプラザ事業の充実

荏原いきいきプラザでは、福祉的就業の場として、引き続き封入作業や検品作業など内職作業を積極的に受注した。結果として、単発の仕事よりも毎月定期的に実施する作業の比率が増えた。

実績 103 件

(4) 適正就業への対応

適正就業となるよう担当職員による現場巡回や就業会員への聞き取り調査を行い、就業手順書の修正を随時行うことで適正就業の確保に努めた。

(5) シルバー派遣事業の展開

シルバー派遣事業導入後、保育補助業務を水平展開し事業実績を伸ばしてきた。5月には私立保育園長会に出席し事業PRを行うことで7園の新規開拓に成功し、今年度は10園に延べ23名を派遣した。保育補助業務以外にも事務補助業務や調理補助業務を受注した。

また、都の補助金を活用し、新聞折込ちらしや各戸へのちらしポスティングなどを実施することで積極的な会員募集に努めた。

今年度から本部以外の拠点にも派遣担当職員を配置して実施体制を整備するとともに、今後の事業拡大を見据えて、衛生委員会開催時に必要な資格者確保のため職員1名に衛生管理者資格を取得させた。

(6) 地区委員会・ボランティア活動の充実

地区委員会は、会員相互のコミュニケーションの円滑化や「共働」「共助」の理念に基づき会員の要望や課題の解決に向けて積極的に活動を展開した。

① 定期的な地区委員会の開催

毎月、定期的に地区委員会を開催しセンターの直近の話題、課題について意見交換するとともに地区全体会のテーマや日帰りレクの検討など積極的な運営に努めた。また、会報シルバーしながわの配付を実施した。

② 地区全体会の開催

夏期と新年に地区全体会を開催。個別テーマによる勉強会を兼ねて会員の知識の向上に努めるとともに安全管理委員等がセンターの大きな課題である

安全就業の重要性を訴えた。また、仕事の募集・会員募集等のポスターの掲出を出席会員に依頼した。

地区全体会の開催 各地区 年2回

地区	夏期全体会	講習会などの内容	新年全体会	講習会などの内容
品川北	7/28 開催 59名	○熱中症予防について ○懇親会	1/19 開催 52名	○安全就業講習 ○バイオリン演奏・ビンゴ
品川南	8/11 開催 36名	○品川の歴史について ○カラオケ・ビンゴ	2/2 開催 38名	○安全就業講習 ○サックス演奏・カラオケ
大崎	7/28 開催 40名	○振込め詐欺について ○懇親会	1/26 開催 50名	○安全就業講習 ○ウクレレ演奏・ビンゴ
大井東	8/18 開催 41名	○わが町の歴史 ○抽選会	1/26 開催 37名	○安全就業講習 ○マンドリン演奏・ビンゴ
八潮	7/28 開催 29名	○認知症対策について ○懇親会	1/26 開催 34名	○安全就業講習 ○寄席・じゃんけん遊び
大井	8/18 開催 42名	○安全と事故防止に関する講演 ○懇親会	1/19 開催 43名	○安全就業講習 ○フラダンス・ ビンゴ・カラオケ
大井西	8/4 開催 27名	○高齢者の交通事故防止について ○カラオケ	1/19 開催 21名	○安全就業講習 ○カラオケ・クイズ・落語
荏原	8/3 開催 50名	○一から学ぼう身近な食品の あれこれ ○懇親会	1/18 開催 51名	○安全就業講習 ○オカリナ・バイオリ ン・ギター三重奏
中延	7/6 開催 51名	○防災の心構えについて ○懇親会	1/13 開催 48名	○安全就業講習 ○踊り・カラオケ・ビンゴ
戸越	8/20 開催 50名	○交通安全について ○カラオケ・ビンゴ	1/16 開催 47名	○安全就業講習 ○南京玉簾・カラオケ

③ 地区委員長連絡会の開催

毎月の新入会員研修会に合わせ地区委員長連絡会を開催することで、各地区、事務局との情報連絡・情報交換を図るとともに、新入会員に対して地区委員長紹介の場を提供した。

④ ボランティア活動

福祉施設を訪問し、会員による手品の披露や朗読、荏原音楽倶楽部と利用者の方々による合唱など、利用者の皆さんとともに楽しいひと時を過ごした。

中延在宅サービスセンター訪問 10月18日 参加人数 11名

事業2 普及啓発事業

(1) 会員の入会強化

① 会員募集の強化

会員の方へ友人・知人紹介カードを配付し、多数入会者を紹介していただ

いた地区には入会勧奨への功労を評価し表彰することとした。

全地区 74 名入会

会員募集ちらしは、区民に新鮮かつ好印象を与えるよう必要な修正を加え、新聞折込やポスティングと様々な実施方法で配布を行った。

また、シルバー派遣事業の展開に伴い派遣登録会員に特化した募集ちらしの配布を行うことで会員増強を図った。

ホームページには新しい情報を迅速に載せることで、会員やお客様へのスピーディーな情報提供を心掛けた。

② シルバー人材センター体験のつどい

合同入会相談会として「シルバー人材センター体験のつどい」を3回実施した。今年度は平日以外で実施したところ、大変盛況であった。

開催日	開催場所	参加人数	主なイベント内容
9/28 (土)	南大井文化センター	45 名	○包丁研ぎ実演 ○障子張り実演 ○健康体操 など
11/23 (土)	荏原文化センター	51 名	○包丁研ぎ実演 ○浴衣の着付け ○健康体操 など
2/23 (日)	品川第一地域センター	73 名	○包丁研ぎ実演 ○スマホ・タブレット体験 ○洋服補修班による小物作りの実演など

③ 関係機関での PR 活動

区の関連施設での事業案内パンフレットや会員募集等のちらしの設置をお願いし、利用者の方に広くセンターを知ってもらうための PR を行った。

④ 現会員数の維持策

未就業会員へのごまめな連絡で現況確認を行うとともに、お客様発注内容一覧表を発送することで就業意欲の喚起を図る一方、地区の全体会を案内することでセンター事業への積極的な参加を促した。

また、会員の健康維持策のひとつとして定時総会の間を活用して体力測定会を実施した。

測定項目 握力測定、血圧測定、骨密度測定、連続立ち上がり動作など

⑤ 地域包括ケアシステムに向けた取組み

家事援助や地域コンビニに従事する会員は、区民が車いすを使用する際のお手伝いすることで、円滑な日常生活を送るサポートをしている。その車いす取扱いの知識をより深めるための講習会を3月開催予定であったが、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で取りやめた。

⑥ 女性会員募集の強化

家事援助や育児支援の就業会員を安定的に確保するため、シルバー人材センター体験のつどいにて和装着付けプロの会員による「ゆかたの着付け」や「小物入れ作り」「健康体操」のブースを設け、女性が入会に興味を持つような取組みを行った。

(2) 積極的な広報活動の展開

- ① 事業 PR ちらし・ポスター配布、新聞折込ちらし、区内主要駅へのポスター掲示
新入会員の会員募集及び事業用ちらし配布 34,800 枚
事業 PR ちらし及び会員募集ちらし一斉配布 210,000 枚
派遣事業の事業 PR ちらし及び会員募集ちらし配布 107,000 枚
新聞折込ちらし 延べ 12 回 574,600 部
区内主要駅へのポスター掲示 12 駅 46 枚
会員による会員募集ポスター貼付 400 枚
- ② 区広報等による周知活動
区の広報しながわ 年 12 回実施、区の統合ポスター 3 回実施
しながわ産業ニュースへの広告掲載 5 回実施
国民健康保険加入者へ送付されるリーフレットへの広告掲載 1 回実施
しながわガイドへの広告掲載 1 回実施
区ホームページへのバナー広告掲載 1 回実施

(3) 定期的な機関紙等の発行

- ① シルバーしながわ
広報担当理事と職員で構成される広報委員会が各発行時期に合わせて年 11 回編集会議を開催し、安全就業などセンターを取り巻く課題や身近な話題、地区委員会活動の様子などを取り上げた。また、品川区内の季節の風景などを表紙とし、会員の趣味や地区委員会活動・事務局の紹介など親しみのある紙面づくりを心掛けた。
年間発行回数 4 回（4 月・7 月・10 月・1 月）
- ② センター通信
会員向けの月刊誌として直近の情報や注意喚起を会員に知らせるとともに、安全就業については欠かさず掲載し重要性を訴えた。その他、パソコン教室、ハウスクリーニング等の講習会の案内を行い、会員の日頃の悩み解決や技術力の向上を図った。配付方法としては、就業中の会員には配分金明細書に同封するものとし、未就業会員に向けては各事務所に配置することで対応した。
毎月発行 年間 12 回

事業 3 研修・講習事業

(1) 新入会員研修

センターの行っている事業の基本的理解と就業の際の注意点、接遇の大切さなどの研修を実施した。

年間実施回数 12 回 令和元年度受講会員数 281 名

毎月の受講状況

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受講者	38	35	20	13	21	20	23	27	26	23	15	20

研修プログラム	「接遇」	講師 (株)パトス
	地区委員長との顔合わせ	
	つま先立ち体操	
	センターの課題及び挨拶	会長
	センター事業の説明	事務局長、事務局次長
	就業の相談、斡旋	各担当者

(2) 職群ごとの研修会の開催

会員の技能向上と資質向上を目指して職群ごとに基礎研修を実施し、接遇や安全就業などの研修を随時行った。令和元年度は2月頃からの新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、イベント・会議等の自粛を余儀なくされ、年度末に予定していた研修会を中止した。

ア．品川区議会議員選挙公報配布業務	4月5日	199名参加
イ．防災広場等清掃業務	4月18日	20名参加
ウ．防災広場等中低木刈込業務	4月21日	19名参加
エ．参議院選挙公報配布業務	7月1日	201名参加
オ．ふれあい作業所公園清掃業務	7月18日	32名参加
カ．シルバーパス更新業務	8月8・20日	121名参加
キ．植木剪定業務	9月19日	20名参加
ク．除草業務	9月20日	23名参加
ケ．シルバーセンター目的外管理業務	10月23日	19名参加
コ．児童センター目的外管理業務	11月8日	23名参加
サ．児童センター清掃業務	11月15日	38名参加
シ．いきいきプラザ内職業業務	12月20日	22名参加

(3) 外部機関を活用しての研修

《東京しごと財団の就業支援講習会》

会員の技術力向上を図るため、東京しごと財団が実施する「就業支援講習会」に年間を通じて会員の参加勧奨を実施した。

植木剪定（初級）	1名参加
家事援助サービス（上級救命講習）	1名参加
ハウスクリーニング	4名参加

《第4ブロック共同研修》

事故未然防止講習	10名参加
救急救命講習（AED）	2名参加
交通安全講習	7名参加

事業4 調査研究事業

第4ブロック内のセンターを中心に派遣事業やセンターの事業状況等の情報を共有し意見交換等を行った。特に派遣事業においては、引き続き都内のセンターで先進的に実施している事例を参考に調査していく。

事業5 相談事業の実施

(1) 理事による就業相談

就業、未就業を問わず会員から広く就業上の相談や仕事上での悩みを理事が聞き取り、今後の仕事の改善や会員の生きがいづくりにつながるようアドバイスを行った。総務部会理事により主に未就業会員を対象に「お客様発注内容一覧表」などを活用し、本部及び荏原支部で就業相談を実施した。

毎月第2木曜日 午後1時から午後4時まで

相談会員56名（男性23名、女性33名）その他、資料持ち帰りに多くの会員が来所した。

(2) 不適合就業会員への措置

不適合就業会員の措置要綱を制定しているが、適用となる事例についてはなし。

事業6 安全就業対策の推進

センターにおける安全就業対策は法人組織の維持のためにも重大な課題であり、平成28年度より安全管理委員会を中心に多様な取組みを行ってきた。また、平成30年度からは、安全パトロールの他に事故再発防止講習会を実施してきた。その結果、令和元年度は10件の傷害事故発生に抑えることができた。

事故概要については資料1（54頁）のとおりだが、転倒事故が4件、交通事故（自転車事故含む）が3件、転落が1件、動作の反動が1件、その他（熱中症）が1件となっている。このように積極的な取組みの成果が表れてきているものの、全国的には横断歩道を歩行中に高齢者が事故に巻き込まれるケースなどが多くなっており、今後とも高齢者自らが再三再四の注意を繰り返す必要がある。引き続き安全就業の取組みを継続していくことが重要である。

(1) 安全就業強化の取組み

- ① 職群班の技能研修や打ち合わせ会を安全集会と兼ねたものと位置付け、安全管理委員も参加して12回開催した。開催された職群では、安全就業についての講話、つま先立ち体操、指差し唱和の訓練、KY（危険予知）運動なども実施し、最後にそれぞれ安全宣言等を採択し、安全就業の徹底を図った。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大防止を受けて3月に予定していた職群会議については実施が出来なかったため、センター通信等を活用し安全就業強化に取り組んだ。
- ② 地区全体会（年2回×10地区）においても安全管理委員が出席し、平成30年3月に作成した傷害事故事例集及び事故防止対策集等を活用し、危険予知等について周知を図った。
- ③ KY運動については、5年目を迎え、指差し唱和・指差し呼称などをそれぞれの職群会議などで、会員に周知し実践するよう呼び掛けを行い、それぞれの就業現場にふさわしい方法で実践するように依頼した。
- ④ 自転車事故の件数が多いことから、品川警察署に講師を依頼して、自転車を使用する会員を対象に自転車シミュレーターを使用した講習会を実施した。
2月14日（金）品川第一区民集会所 参加者約30名

(2) 安全就業基準の徹底

- ① 植木班、除草班を中心に安全講習会で安全就業基準の再確認をした。
植木班では、就業前からのヘルメットの着用徹底を図るとともにヘルメット貸与時には安全就業のシールを貼るなどの注意喚起を行った。また、除草班にもヘルメットを貸与し、植木班と一緒に作業する場合などには枝の落下に備え着用を義務づけた。
- ② 高所作業(1.5 m以上)時に使用する脚立や三脚等の、安全就業基準の徹底を図るため、造園業者による安全講習を含む悉皆研修を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。なお、年間を通じて安全パトロールにて脚立や三脚等が正しく使用されているかの確認と指導を行った。
- ③ 転倒予防に役立つようにと会議前等に実施している「つま先立ち体操」をより多くの会員にも広めるよう、職群会議・地区全体会・総会前・安全パトロール点検時に実施し普及に努めた。

(3) 安全管理委員の活動強化

- ① 安全管理委員会の開催
安全管理委員会を年4回開催し、「安全対策基本計画」及び「安全対策実施計画」を作成・推進し事故ゼロを目指した。
定期開催 年4回(4月・6月・10月・3月)
※3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のために縮小開催。
うち1回(6月)は地区委員長との合同開催。
- ② 安全パトロールの実施
5月から3月までの各月において植木現場を中心に年間15回の安全パトロールを実施し、事故防止を呼び掛けた。また、12月・1月・2月・3月については、夜の就業現場を中心にパトロールを実施。学校施設開放管理や地域センターの管理業務・夕方からの喫煙マナーアップ啓発事業などの現場を巡回し安全に対する注意喚起を行った。
8月には東京しごと財団から安全パトロール員が来所、植木現場2件の巡回点検を指導員・安全管理委員長他2名で実施した。
- ③ 安全就業強化月間の取組み
7月・11月・2月と3回実施した。各安全就業強化月間の共通の取組みとして事故防止の注意喚起のちらし配布、シルバーしながわでの安全就業に関する特集記事、センター通信等での就業途上の転倒事故・自転車事故防止の呼び掛けとつま先立ち体操の奨励等を実施した。また、就業報告書を提出の際に事故への注意喚起をする一人一声掛け運動を実施した。その他各事務所で安全就業の垂れ幕を掲出し注意喚起を図った。また、安全強化月間においては安全パトロールを2回実施し、地区委員長にも1名参加してもらい、声掛け等を行ってもらった。
さらには、年1回実施した地区委員長合同の安全管理委員会において、地区委員長を始めとして、各地区委員の方からも安全就業について会員への声

掛けを行うよう協力を依頼した。

以下、月ごとに行った取組み

《7月》

熱中症・茶毒蛾・蜂等に対する注意喚起ちらしを配分金明細書に同封

各事務所で「転倒防止」・「熱中症対策」の注意喚起ちらしと熱中症対策「塩飴」を配布

各事務所を避暑シェルターとして麦茶を用意

夏の地区全体会において安全管理委員による事故事例集等を用いた安全講習の実施

《11月》

各事務所で風邪予防「のど飴」を配布

就業経路途上の転倒事故・自転車事故防止ちらしを配布

安全標語の募集

安全グッズ「ちょっと安心お役立ちセット」を各事務所にて配布

(令和2年3月末まで配布)

《2月》

自転車シミュレーターを使用した講習会を2月14日に開催

各事務所で転倒防止や路面凍結の注意喚起ちらしと風邪予防の「のど飴」を配布

④ 会員への安全就業の周知

配分金明細書に適宜、安全に関するちらしを同封し注意喚起を呼び掛け、窓口でも配付し注意喚起した。(熱中症予防ちらし・転倒予防ちらし・雪に関する注意ちらし等)

⑤ 事故再発防止講習会

傷害事故に遭われた方及び賠償事故を起こした方を対象に参加を義務づけた事故再発防止講習会を随時実施した。講習会は傷害事故に遭われた会員が就業に復帰する前等に事務局長・担当者・安全推進員・安全管理委員長などにも協力いただき全5回8名の会員が受講した。

⑥ 過去の事故事例集の活用

事故防止対策の強化を図るため、平成30年3月に全会員へ配付した「傷害事故事例集及び事故防止対策集」を地区全体会において安全管理委員が説明資料に活用した。

また、新入会員研修会においても配付し事故防止に活用した。

(4) シルバー保険の加入、自転車総合保険の斡旋

① シルバー保険加入 全会員(令和2年3月31日現在 2,404人)

② 自転車総合保険の加入の斡旋

(保険加入者数 令和元年10月1日現在 452人)

(5) 植木班・除草班の安全就業への独自の取組み

① 安全具の適正使用

植木現場に入る際は必ずヘルメットを着用し、安全帯も必ず用意し必要に応じ着用することとした。安全パトロールで確認したが違反は皆無であった。

② 職群会議及び安全講習会の実施

職群班会議を4月に開催し安全に対する注意喚起を行った。

3月に悉皆研修として予定していた安全講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

③ 体調管理

原則週2日は必ず休み、繁忙期でも週1日は必ず休みを取ることとした。

特に夏場は熱中症に気を付け、こまめに水分補給することや休憩を取り、体調管理に留意することとした。

(6) 事業継続計画（BCP）の策定

大規模な災害等が発生した時に備えて公共性の高い事業の継続性を確保するために実施すべき事業の対策、発生時の会員や事務局職員の対応などについて、まず、危機管理のベースとなるリスク管理規程を策定した。また、更なる危機管理の充実を図るため事業継続計画（BCP）を引き続き検討する。

事業7 地域交流活動の充実

(1) 会員交流コーナーの充実

本部、荏原支部に会員同士の日常的な交流の促進を図るとともに「お客様発注内容一覧表」を備え就業情報を得られる場としての、会員交流コーナーを毎月1回実施した。

来所会員 11名

(2) シルバーお助け隊の設置拡大

簡易なサービス提供を地域の会員同士が助け合う「シルバーお助け隊」機能の充実を図るため、現在設置している荏原地区及び中延地区を参考に他地区への拡大を検討した。

(3) イベントを活用したPR

イベントへの参加

イベント	実施日	参加会員・実績
みどりと花のフェスティバル	4/20・21 10/19・20	各日会員5名 包丁研ぎ延べ117本 PRグッズ延べ200個配布
中小企業センターまつり	5/26	会員2名 PRグッズ400個配布
八潮まつり	7/13・14	各日会員3名 ジュースの販売・輪投げ

イベント	実施日	参加会員・実績
シルバー成年式	9/7	会員 3 名 エコバック 360 個配布
武蔵小山一番通り 商栄会一番祭り物産展	10/25～27	各日会員 9 名 包丁研ぎ延べ 217 本 PR グッズ延べ 600 個配布
大商業まつり	11/23	会員 6 名 包丁研ぎ 35 本 PR グッズ 180 個配布

※品川第一地区まつりは、雨天のため中止

※しながわ地域貢献活動展（旧：品川区消費生活展）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 会員サークル活動の充実

- ・シルバー健康クラブを発足し、会員のケガ予防・健康増進のため活動した。
- ・荏原音楽倶楽部は生きがい・社会貢献・仲間づくりを目的に、ボランティア活動も実施した。

Ⅲ. 収益事業

国有地・所有地をセンターが道路占用許可や行政財産の使用許可を得て、駐車場として経営した。また、毎日の清掃、不法駐輪・駐車物の撤去や道路の整理・整頓などを実施して周辺環境の整備に努めた。さらに、消費税の増税に伴い駐車場料金の改定について、国および都と協議を行った。

実績額 935 万円

Ⅳ. 法人運営（法人会計）

(1) 運営の簡素化

公益法人の機関運営については、簡素で効率的な法人運営の徹底に取り組んだ。

令和元年度定時総会

開催日時	令和元年6月21日（金）	午後1時30分～
開催場所	品川区東大井5-18-1	きゅりあん（大ホール）
会員数	2,447名	
出席会員数	1,616名	（内委任状1,181名）
定足数	1,224名	（会員数の2分の1）
議案		
第1号議案	公益社団法人品川区シルバー人材センター	平成30年度決算報告
第2号議案	理事・監事選任の件（全員任期満了による）	
報告事項	公益社団法人品川区シルバー人材センター	平成30年度事業報告
	公益社団法人品川区シルバー人材センター	令和元年度（平成31年度）事業計画及び収支予算書

(2) ガバナンス（内部統治）の強化

理事会の活性化及び監査の充実

理事会等を定期的で開催し事業の全体状況や会員の現状など運営全般を適宜把握し、課題や問題点について活発な論議を重ねて管理と経営の充実に努めた。また、監査についても適切な経理処理と経営改善につながるよう定期的に実施した。

理事会	年	12回開催
三役会	年	11回開催
監査	年	2回開催

2.会 員 の 状 況

(1) 会員の入退会者数

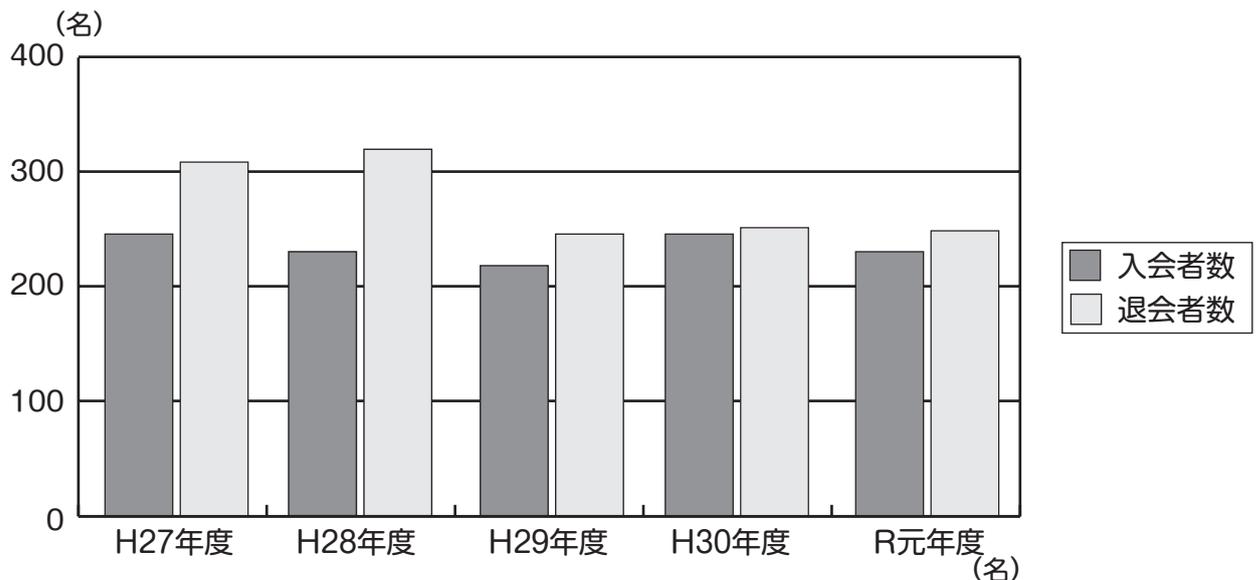
(名)

年 月	入 会		退 会		月末会員数		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
H31.4	35	29	14	17	1,376	1,071	2,447
R1.5	12	13	10	10	1,378	1,074	2,452
6	9	9	37	25	1,350	1,058	2,408
7	8	14	22	15	1,336	1,057	2,393
8	6	11	8	1	1,334	1,067	2,401
9	6	16	28	17	1,312	1,066	2,378
10	5	6	3	1	1,314	1,071	2,385
11	8	13	1	2	1,321	1,082	2,403
12	4	9	9	2	1,316	1,089	2,405
2.1	4	3	4	6	1,316	1,086	2,402
2	3	5	5	3	1,314	1,088	2,402
3	2	0	0	0	1,316	1,088	2,404
合 計	102	128	141	99			

退会理由

病 気	78 名	家庭の事情(介護等)	12 名
就 職	32 名	会 費 未 納	38 名
死 亡	26 名	加 齢	27 名
転 居	14 名	センター運営に対する不満	0 名
希望する仕事なし	4 名	未回答(不明)	9 名
就業機会なし	0 名	そ の 他	0 名
		合 計	240 名

(2) 会員の入退会者数の推移 (過去5年間)



区 分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
入会者数	242	234	219	241	230
退会者数	304	309	241	243	240

(3) 会員の年齢別内訳

令和2年3月31日現在(名)

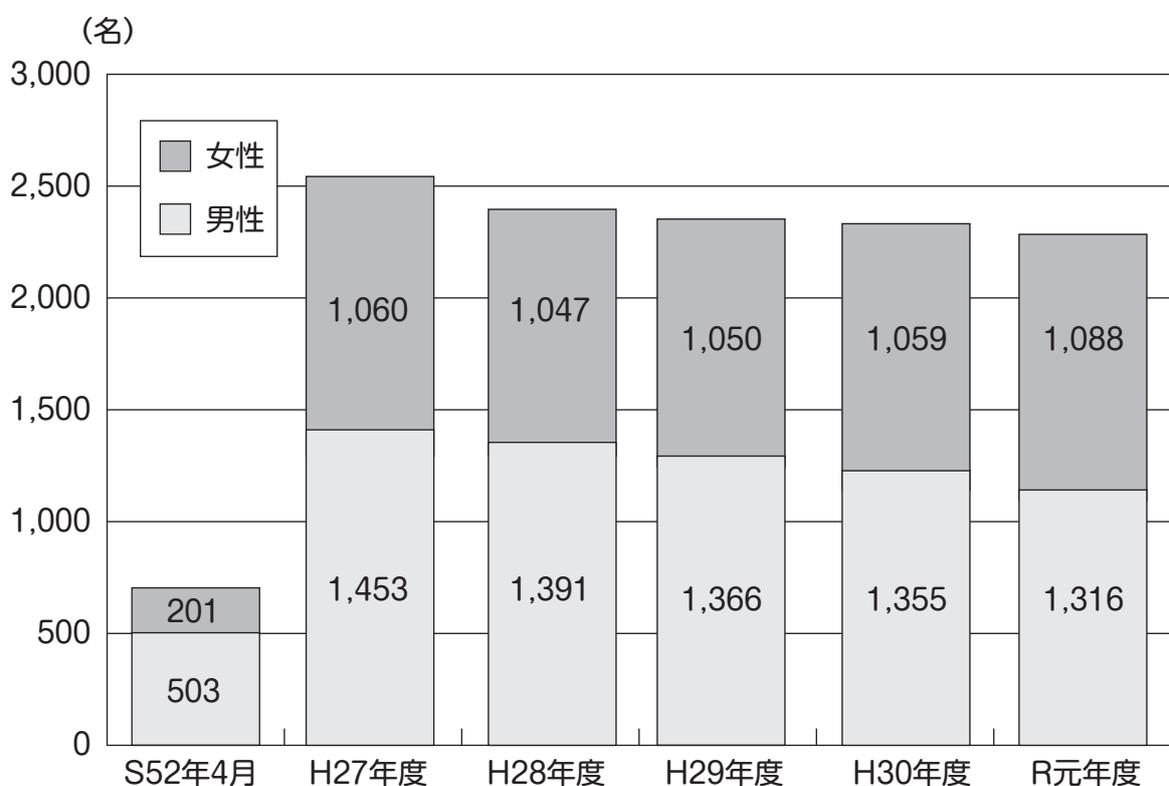
	60歳未満	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	合計
男性	2	17	135	364	418	380	1,316
女性	0	29	118	315	375	251	1,088
計	2	46	253	679	793	631	2,404

- ・会員の男女比 男性 54.7% 女性 45.3%
- ・平均年齢 男性 76.8歳 女性 76.0歳
- ・最高年齢 男性 97歳 女性 92歳

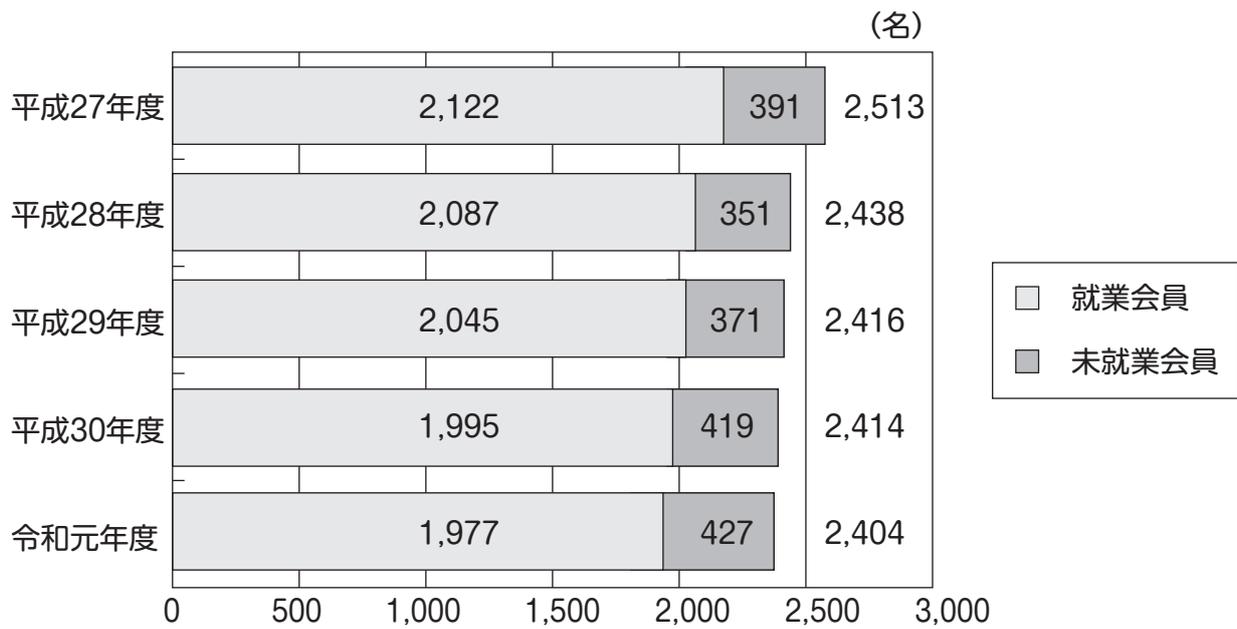
(4) 会員数の推移

(名)

	S52年4月	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
男性	503	1,453	1,391	1,366	1,355	1,316
女性	201	1,060	1,047	1,050	1,059	1,088
計	704	2,513	2,438	2,416	2,414	2,404



(5) 各年度別就業実人員の推移



(6) 各年度月別就業実人員

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 実人員
平成27年度	1,819	1,818	1,825	1,801	1,761	1,829	1,809	1,808	1,776	1,755	1,760	1,779	2,122
平成28年度	1,792	1,783	1,805	1,800	1,765	1,815	1,775	1,793	1,767	1,745	1,749	1,737	2,087
平成29年度	1,761	1,746	1,734	1,764	1,721	1,768	1,730	1,714	1,684	1,684	1,688	1,678	2,045
平成30年度	1,688	1,670	1,684	1,693	1,656	1,708	1,674	1,670	1,675	1,662	1,657	1,663	1,995
令和元年度	1,690	1,702	1,694	1,701	1,673	1,704	1,642	1,668	1,655	1,635	1,655	1,582	1,977

3. 事業実績

(1) 令和元(平成31)年度月別事業実績表【請負】

月別	月別 会員数	事業別	受託事業 件数	就業人員		契 約 金 額			
				延実人員	延日人員	配 分 金	材 料 費	事 務 費	計
	人		件	人	日人	円	円	円	円
4月	2,447	公 共	46	1,391	8,847	37,217,605	613,522	4,169,354	42,000,481
		民 間	1,229	2,017	15,424	56,096,905	803,961	5,092,889	61,993,755
		計	1,275	3,408	24,271	93,314,510	1,417,483	9,262,243	103,994,236
5月	2,452	公 共	50	1,576	13,072	40,713,857	3,491,490	4,532,381	48,737,728
		民 間	1,366	2,241	15,874	58,768,411	1,320,159	5,415,806	65,504,376
		計	1,416	3,817	28,946	99,482,268	4,811,649	9,948,187	114,242,104
6月	2,408	公 共	45	1,245	9,073	34,701,782	481,782	4,815,272	39,998,836
		民 間	1,325	2,019	14,547	56,037,078	1,225,243	5,154,893	62,417,214
		計	1,370	3,264	23,620	90,738,860	1,707,025	9,970,165	102,416,050
7月	2,393	公 共	49	1,240	8,993	41,496,868	483,497	6,512,183	48,492,548
		民 間	1,337	2,222	16,198	60,389,457	1,076,366	5,547,568	67,013,391
		計	1,386	3,462	25,191	101,886,325	1,559,863	12,059,751	115,505,939
8月	2,401	公 共	46	1,377	8,209	33,817,442	553,039	3,245,117	37,615,598
		民 間	1,253	2,189	15,483	55,247,775	1,761,147	5,201,685	62,210,607
		計	1,299	3,566	23,692	89,065,217	2,314,186	8,446,802	99,826,205
9月	2,378	公 共	47	1,009	7,622	31,050,148	465,189	3,927,558	35,442,895
		民 間	1,346	2,301	15,532	59,227,863	1,707,382	5,734,417	66,669,662
		計	1,393	3,310	23,154	90,278,011	2,172,571	9,661,975	102,112,557
10月	2,385	公 共	47	1,196	8,991	34,101,730	1,483,196	4,157,401	39,742,327
		民 間	1,306	2,150	15,719	58,830,089	1,396,890	5,542,594	65,769,573
		計	1,353	3,346	24,710	92,931,819	2,880,086	9,699,995	105,511,900
11月	2,403	公 共	52	1,220	8,814	35,014,647	601,461	3,797,945	39,414,053
		民 間	1,315	2,104	14,813	57,929,462	1,043,746	5,514,056	64,487,264
		計	1,367	3,324	23,627	92,944,109	1,645,207	9,312,001	103,901,317
12月	2,405	公 共	47	1,190	9,497	35,447,870	524,820	2,987,346	38,960,036
		民 間	1,292	2,108	15,253	55,711,264	1,247,895	5,524,585	62,483,744
		計	1,339	3,298	24,750	91,159,134	1,772,715	8,511,931	101,443,780
1月	2,402	公 共	49	1,191	8,450	31,582,335	933,189	4,180,355	36,695,879
		民 間	1,059	1,769	13,947	50,670,907	748,444	4,972,783	56,392,134
		計	1,108	2,960	22,397	82,253,242	1,681,633	9,153,138	93,088,013
2月	2,402	公 共	52	1,224	8,379	33,734,632	778,649	3,734,723	38,248,004
		民 間	1,063	2,020	14,838	53,583,591	935,797	5,295,446	59,814,834
		計	1,115	3,244	23,217	87,318,223	1,714,446	9,030,169	98,062,838
3月	2,404	公 共	58	1,214	9,007	32,619,227	326,965	4,468,459	37,414,651
		民 間	1,032	1,725	14,145	52,741,917	644,703	8,737,640	62,124,260
		計	1,090	2,939	23,152	85,361,144	971,668	13,206,099	99,538,911
累 計		公 共	588	15,073	108,954	421,498,143	10,736,799	50,528,094	482,763,036
		民 間	14,923	24,865	181,773	675,234,719	13,911,733	67,734,362	756,880,814
		計	15,511	39,938	290,727	1,096,732,862	24,648,532	118,262,456	1,239,643,850

(2) 会員の職群別就業実績【請負】

	公共事業		民間事業		合計		構成比
	延日人員	配分金	延日人員	配分金	延日人員	配分金	
	日人	円	日人	円	日人	円	%
1.技術群	0	0	3,425	13,646,319	3,425	13,646,319	1.3
2.技能群	130	1,403,798	6,000	53,333,704	6,130	54,737,502	5.0
3.事務群	2,117	8,123,214	12,808	26,502,785	14,925	34,625,999	3.2
4.管理群	33,840	208,524,110	15,803	79,853,789	49,643	288,377,899	26.3
5.折衝外交群	732	1,995,444	1,203	4,227,124	1,935	6,222,568	0.5
6.軽作業群	28,540	101,410,826	126,242	471,014,058	154,782	572,424,884	52.1
7.サービス群	43,595	100,040,751	16,292	26,656,940	59,887	126,697,691	11.6
8.その他	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	108,954	421,498,143	181,773	675,234,719	290,727	1,096,732,862	100.0
構成比(%)	37.5	38.4	62.5	61.6	100.0	100.0	

図-1 職群別配分金比率

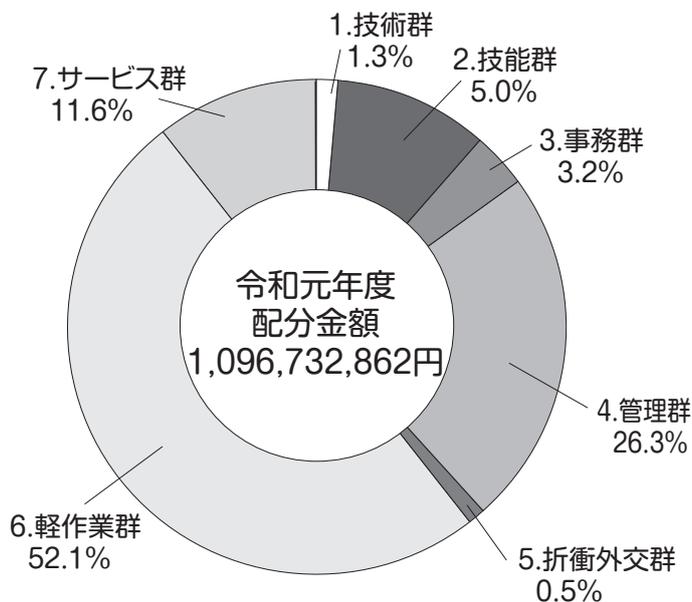
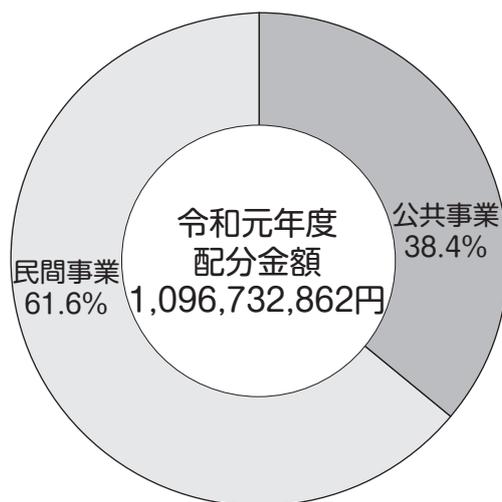


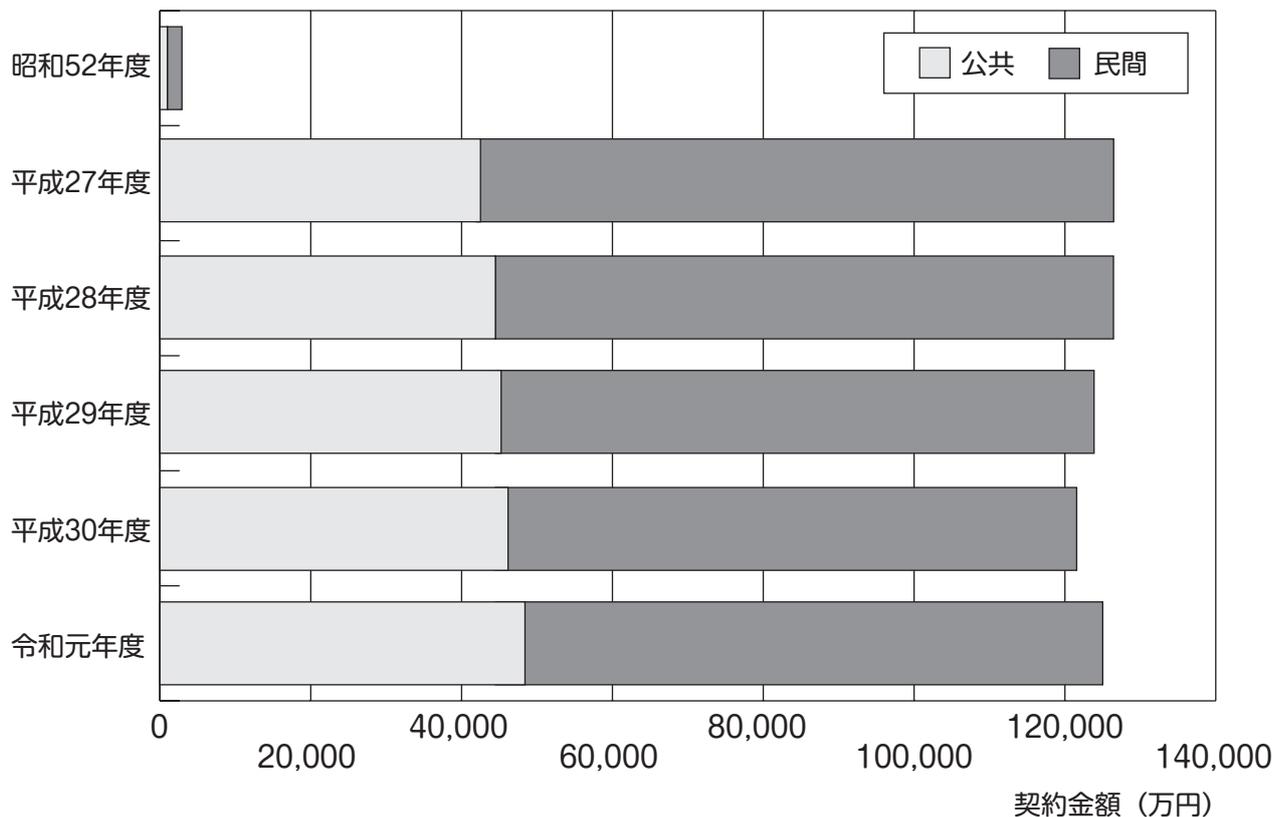
図-2 事業別配分金比率



(3) 各年度別事業実績（過去5年間）【請負】

年度	事業別	委託件数	延日人員	配分金	材料費	事務費	計	公民比
		件	日人	円	円	円	円	
昭和52年度	公共	79	3,235	8,636,296	682,986	502,882	9,822,164	33.6 : 66.4
	民間	704	5,132	15,847,884	2,363,864	1,177,307	19,389,055	
	計	783	8,367	24,484,180	3,046,850	1,680,189	29,211,219	
平成27年度	公共	613	101,261	367,618,988	12,716,313	37,186,798	417,522,099	33.2 : 66.8
	民間	17,223	213,336	762,803,254	12,247,611	64,827,383	839,878,248	
	計	17,836	314,597	1,130,422,242	24,963,924	102,014,181	1,257,400,347	
平成28年度	公共	649	101,244	383,841,599	11,875,711	37,265,304	432,982,614	34.5 : 65.5
	民間	17,052	208,789	747,352,337	11,806,897	64,013,398	823,172,632	
	計	17,701	310,033	1,131,193,936	23,682,608	101,278,702	1,256,155,246	
平成29年度	公共	618	107,080	389,239,749	11,637,367	37,587,265	438,464,381	35.7 : 64.3
	民間	16,403	201,089	713,466,975	13,627,937	61,995,530	789,090,442	
	計	17,021	308,169	1,102,706,724	25,265,304	99,582,795	1,227,554,823	
平成30年度	公共	602	102,657	396,956,455	6,844,721	39,849,155	443,650,331	36.7 : 63.3
	民間	15,414	192,205	687,800,559	12,148,557	63,883,836	763,832,952	
	計	16,016	294,862	1,084,757,014	18,993,278	103,732,991	1,207,483,283	
令和元年度	公共	588	108,954	421,498,143	10,736,799	50,528,094	482,763,036	38.9 : 61.1
	民間	14,923	181,773	675,234,719	13,911,733	67,734,362	756,880,814	
	計	15,511	290,727	1,096,732,862	24,648,532	118,262,456	1,239,643,850	

図-3 各年度別事業実績の推移



(4) 令和元(平成31)年度月別事業実績表【派遣】

月別	受託事業 件数	就業人員		契 約 金 額		
		延実人員	延日人員	賃 料	手数料等	計
	件	人	日人	円	円	円
4月	5	9	97	440,466	133,583	574,049
5月	5	8	96	417,253	127,732	544,985
6月	10	13	140	577,727	176,583	754,310
7月	10	14	178	688,797	205,107	893,904
8月	14	18	206	822,984	245,102	1,068,086
9月	14	20	222	912,107	255,610	1,167,717
10月	14	22	256	1,037,086	279,602	1,316,688
11月	13	21	243	981,500	316,488	1,297,988
12月	13	21	241	981,360	316,068	1,297,428
1月	14	29	244	1,006,099	313,792	1,319,891
2月	14	26	241	997,514	328,028	1,325,542
3月	15	26	289	1,195,084	355,523	1,550,607
計	141	227	2,453	10,057,977	3,053,218	13,111,195